

○香川県青年センター条例

昭和44年 7 月10日 条例第25号

改正

平成17年12月20日 条例第62号

平成24年 3 月23日 条例第26号

平成27年 7 月21日 条例第30号

平成31年 3 月19日 条例第 2 号

令和 7 年 3 月25日 条例第 4 号

香川県青年センター条例をここに公布する。

香川県青年センター条例

(設置)

第 1 条 香川県青年センター（以下「青年センター」という。）を高松市に設置する。

(目的)

第 2 条 青年センターは、青年に対し、研修、団体活動、国際交流その他の活動の場を提供することにより、青年の健全な育成を図ることを目的とする。

(使用料)

第 3 条 青年センターを利用する者は、香川県使用料、手数料条例（昭和27年香川県条例第 2 号）の定めるところにより、使用料を納入しなければならない。

(利用の許可)

第 4 条 青年センターを利用しようとする者は、規則で定めるところにより、知事の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(指定管理者による管理)

第 5 条 青年センターの管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の 2 第 3 項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 知事は、法人その他の団体であって、次に掲げる指定の基準に適合すると認められるものを、その申請により、議会の議決を経て、指定管理者として指定することができる。

(1) 青年センターの平等な利用が確保されること。

(2) 青年センターの管理に係る事業計画書（以下「事業計画書」という。）の内容が、青年センターの効用を十分に発揮することができるものであるとともに、その管理に係る経費の縮減

が図られるものであること。

(3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有していること。

(4) その他青年センターの設置の目的を効果的に達成するため知事が必要と認める基準

3 前項の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他知事が必要と認める書類を添付して、知事に提出しなければならない。

4 知事は、第2項の規定による指定をしたときは、その旨を公示しなければならない。地方自治法第244条の2第11項の規定により指定を取り消し、又は管理の業務の停止を命じたときも、同様とする。

5 指定管理者は、規則で定める管理の基準に従い、青年センターの維持管理その他の規則で定める業務を行うものとする。

6 青年センターの管理を指定管理者に行わせることとした場合における前条の許可は、当該指定管理者がするものとする。この場合において、同条の規定の適用については、同条中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。

(利用料金の収受)

第6条 知事は、指定管理者に別表の左欄に掲げる施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

(利用料金の承認)

第7条 利用料金は、指定管理者があらかじめ知事の承認を受けて定めるものとする。この場合において、指定管理者が定める利用料金の額は、別表に定める額を超えてはならない。

(利用料金の減免)

第8条 指定管理者は、特に必要があると認めたときは、あらかじめ知事の承認を受けて、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第9条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者が特別な理由があると認めたときは、この限りでない。

(適用除外)

第10条 第6条の規定に基づき指定管理者に利用料金を収受させる場合においては、第3条の規定は、適用しない。

(委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、青年センターの管理に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(香川県農業技術等研修施設条例の一部改正)

- 2 香川県農業技術等研修施設条例（昭和39年香川県条例第23号）の一部を次のように改正する。

「香川県農村青年研修館 綾歌郡国分寺町

第1条中 香川県農山漁家生活近代化センター綾歌郡国分寺町

香川県果樹研修所 坂出市」

を削る。

第2条中第3項、第4項及び第5項を削り、第6項を第3項とする。

第3条第1項各号列記以外の部分中「その他の農業技術等研修施設」を「機械化研修センター」に改め、同項中第2号を削り、第3号を第2号とする。

第4条中「果樹研修所又は」を削る。

第5条中「、研修館、近代化センター」を削る。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

- 3 香川県使用料、手数料条例（昭和27年香川県条例第2号）の一部を次のように改正する。

別表 第1表 使用料の部 2 公の施設の使用料13の項及び14の項を次のように改める。

13	香川県青年センター	講堂又は大会議室		
		一般利用	1日につき	1,500円
		特別利用	1日につき	700円
		小会議室		
		一般利用	1日につき	750円
		特別利用	1日につき	350円
		実習室		
		一般利用	1日につき	1,500円
		特別利用	1日につき	700円
		宿泊施設		
		洋室		
		A室		
		一般利用	1人につき1泊	300円

特別利用	1 人につき 1 泊	150円
B 室		
一般利用	1 人につき 1 泊	200円
特別利用	1 人につき 1 泊	100円
和室		
一般利用	1 人につき 1 泊	200円
特別利用	1 人につき 1 泊	100円
特別利用の形態、使用時間を分割する場合の使用料及び暖房使用料は、別に規則で定める。		

同表 使用料の部 2 公の施設の使用料15の項を14の項とし、16の項から19の項までを1項ずつ繰り上げる。

附 則（平成17年12月20日条例第62号）

この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

（1）・（2） 〔略〕

（3） （前略）第19条（中略）の規定 平成18年1月10日

（4）・（5） 〔略〕

附 則（平成24年3月23日条例第26号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成27年7月21日条例第30号）

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月19日条例第2号抄）

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

附 則（令和7年3月25日条例第4号抄）

（施行期日）

1 この条例は、令和7年4月1日から施行する。（後略）

別表（第6条、第7条関係）

施設等	単位	金額
大会議室		
一般利用	1 時間当たり	920円

中会議室	特別利用	1 時間当たり	460円
	一般利用	1 時間当たり	600円
小会議室	特別利用	1 時間当たり	300円
	一般利用	1 時間当たり	300円
野外活動場	特別利用	1 時間当たり	150円
	一般利用	1 時間当たり	540円
宿泊施設	特別利用	1 時間当たり	270円
	一般利用	1 時間当たり	270円
洋室	特別利用	1 人につき 1 泊	1,300円
	一般利用	1 人につき 1 泊	1,950円
和室	特別利用	1 人につき 1 泊	1,180円
	一般利用	1 人につき 1 泊	1,700円
体育館	特別利用	1 人につき 1 泊	1,180円
	一般利用	1 人につき 1 泊	1,700円
競技場	特別利用	1 人につき 1 泊	1,180円
	一般利用	1 人につき 1 泊	1,700円
ステージ	特別利用	1 人につき 1 泊	1,180円
	一般利用	1 人につき 1 泊	1,700円
シャワー（温水）	特別利用	1 人につき 1 泊	1,180円
	一般利用	1 人につき 1 泊	1,700円
特別利用の形態並びに大会議室、中会議室及び小会議室の冷暖房使用料の額は、別に規則で定める。			